

様式8

平成25年度事業実績報告書

(団体名：葛城生薬の会)

事業名	歴史ある大和生薬復活活動
実施した場所	葛城市山田の農地
参加者・実施回数等	葛城生薬の会会員 月1～2回実施(20回実施)
実施した内容 (詳しく記入してください)	ヤマトトウキ(150株) ヤマト芍薬(1000㎡) 紫蘭(100株) ミシマサイコ(100㎡)を15aの農地に植え付けた。 上記生薬をより確かな栽培方法を見出すため、試験栽培として取り組んだ。
得られた効果	古来から伝承されている薬草の復活に取り組んで行くことにより、たくさんの人々から共感が得られ、生薬そのものへの関心を得ることができた。
今後の展望	6次産業化等を視野に入れ、生薬の製造から販売までを行うことを目標にし、古代からの産業の復活の起爆剤となり得ることを目指す。
事業を実施してみた感想など	古代からの作物のため栽培方法が難しく、土質状態、天候状態においても品質が左右されたが、作りがいのある作物であると実感した。

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

事業名	新たな葛城山麓地域の地域ブランド・プライベートブランドの創出事業
実施した場所	葛城山麓地域の耕作放棄地や休耕田（寺口、梅室地域内）
参加者・実施回数等	葛城山麓ファームの会員及び一般市民の方々 会員外との交流イベントとして3回実施。延べ300人参加 会員の勉強会及び作業実施として月1～3回実施。延べ200人参加
実施した内容 (詳しく記入してください)	会員外との交流として、地域ブランドの創出を図ることを目的に11月3日のゆめフェスタ in 葛城や11月17日の八幡浜市で行われたブランドサミットで、このファームで作付けしている桑の葉より作った桑茶などを試飲してもらったり又、桑の粉を使った鶏桑団子汁を作って試食してもらったりして好評を得た。葛城の森での交流イベントにおいては、遊休農地を解消して作ったもち米で、市民の方々に餅つき体験を行った。そしてこの3月22日には葛城山麓まつりを実施し、耕作放棄地を解消して作ったキクイモを活用した加工品などを、市民の方々に味わっていただく予定である。 プライベートブランドの創出としては、遊休農地等を解消して、キクイモや菜種等など葛城山麓の地域色がだせる品々を2haほど植え付けを行い、3月末には、桑を0.3haほど植える予定であります。そして、ただ作るだけではなく、今後地域に活力が与えられるようにと、桑やキクイモなどの多面的な活用に向け食品衛生等の研修会も行いました。加工面にも力をそそぎ、キクイモを粉にしたきくひめなども創作しました。
得られた効果	上記のようなイベントに参加することにより、葛城市の葛城山麓の地域のすばらしさ、活力がアピールできたことは、地域外の人々にこの地域に来て見たいという興味を促せたこと、又地域にも活力が溢れてきたことが大きな成果であった。そして地域内においても、付加価値の高いものを生み出せば今後につなげられるという意欲が湧き出てきたことが、一番の効果であった。
今後の展望	今後においても、より地域ブランドを確立していき、より葛城の葛城山麓という知名度をアップさせるための多種なるイベントを実施していき、そして、プライベートブランドにおいても、桑や菜種、キクイモなどの多面的な活用方法を6次産業も踏まえ、地域が誇れるブランドづくりを行っていく予定である。
事業を実施してみた感想など	地域に元気が生まれる。そして地域をより元気にするための意欲が溢れてくることが実感したものである。

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

様式8

平成25年度事業実績報告書

(団体名：太田里山の会)

事業名	こんにゃく芋・さつまいも・シイタケ栽培の活動
実施した場所	太田区内
参加者・実施回数等	太田里山の会会員 参加延人数 240人 実施回数 24回
実施した内容 (詳しく記入してください)	<ul style="list-style-type: none"> ・ さつまいも・こんにゃく畑周辺・未耕作地の草刈り9回。 ・ 鳥獣被害防御用柵設置。 ・ 雑菌入りホダ木の焼却と整理 ・こんにゃく畑の除草等。 ・ こんにゃく芋の高温障害による生育調査。 ・ さつまいも掘りと出荷 ・里芋、枝豆、なた豆等の収穫。 ・ 夢フェスタ出店用の早生みかんを和歌山へ買付に行く。 ・ 夢フェスタ出店 (さつまいも・なた豆・枝豆・みかんの販売) ・ 未耕作地の竹の除根と整地 (重機で掘り起こす) ・ こんにゃく畑のマルチを除去し、稲わらを敷く。 ・ こんにゃく造り教室開催 (16名の参加で大好評) ・ 椎茸用原木の伐採と切断作業。 ・ 農地内への車進入路を整備と未耕作地の除根と整地作業。 ・ 椎茸菌を原木へ植菌と、ホダ木の仮伏せ作業。
得られた効果	こんにゃく・さつまいもは順調に生育し、さつまいもは出荷出来た。又、夢フェスタ (初) でも、さつまいも・なた豆等を出店販売できた。こんにゃく芋は、夏の高温障害も無く、ピンポン玉位まで成長し、今年1年でかなり肥大すると考えられる。
今後の展望	こんにゃく芋は、農地の土質が砂壤土と大変適している事が解ったので、昨年の反省から十分敷ワラをしたので、夏の高温期でも順調に成長すると思う。さつまいもも、再度栽培し出荷もするが、加工して販売も考えている。里芋も栽培面積を拡大する。
事業を実施してみた感想など	相当の仕事量であったが、12名の会員の協力で、良くできたと思う。今後も会員の意思疎通を大切に、太田里山の会をもっと発展させて行きたい。

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

様式8

平成25年度事業実績報告書

(団体名：はす池を守る会)

事業名	昔なつかしい川えび・もろこを育てる会
実施した場所	葛城市中戸地内（はす池）及び（岡田池）
参加者・実施回数等	<p>1・会員により（はす池）（岡田池）の堤防の草刈り等の実施及び大雨時点での池・周辺等の巡回</p> <p>2・H25.02.18（月）に（モロコ）（川エビ）稚魚の放流 別添の写真等参照 （その他、ほぼ毎日、池周辺の巡視点検）</p> <p>3・H25.11.24（日）待望のジャコ取りの実施</p>
実施した内容 （詳しく記入してください）	<p>会員有志で（はす池）（岡田池）の堤防の草刈り等を実施しました。また、大雨時点での池・堤防周辺の巡回等の実施を数回行いました。</p> <p>今回は、はす池は（ブラックバス）の被害が想定され、稚魚の放流場所（はす池から岡田池）に変更を考え、中戸区の初寄り総集会で岡田池の池底権利の入札にも参加し落札し権利を取得しました。尚、はす池の池底権利も取得しております。しかし、運悪く市役所の農林課の岡田池の（底樋・上樋）の改修工事と重なり、H25.02.18現在の水位は0^{cm}で、池は空の状態です。</p> <p>したがって、急遽に採択を受けた申請場所の（はす池）に稚魚を放流しました。</p> <p>H25.11.24（日）に会員有志で待望のジャコ取りを実施しました。</p>
得られた効果	<p>岡田池に放流した稚魚の様子は、放流から約1ヵ月が経過しましたが、死んだ稚魚は数匹で見た目では順調良く成長しているものと推察します。</p> <p>また、放流時点で稚魚（雌）は、大きなお腹に卵を抱えており、堤防下周辺の木の根っこの間や枯れ葉の下に産卵すると期待しております。また、稚魚が生まれたようで数匹ではありますが泳いでいるのが確認できました。</p> <p>また、下流の中戸川にメダカがたくさん泳いでおりました。岡田池にもメダカを確認しており、岡田池には天敵のブラックバスはいないと確信しました。</p> <p>はす池に放流した稚魚は、やはりブラックバスの餌食になったものと思われます。</p>

	<p>H25.11.24（日）に待望のジャコ取りを実施しました。 水を抜き、池の底が見えてきた時点で早速と川エビを1匹確認し期待しましたが、これっきりの1匹でした。 ジャコ取りが進む中、ブラックバスばかりです。写真にもありますように、50cmはあるかと思われるバスです。 期待のモロコは、残念ながら1匹もおりませんでした。 補助金をいただいたのに、申し訳ない思いで残念でなりません。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>いかにブラックバス対策をするか等の大きな検討課題が残りました。 ブラックバスは、雑食で小さな小魚等を丸飲みします。今後は会員でブラックバスを釣り上げて被害を最小限に食い止める予定でしたがやはり無理な状況でした。 また、モロコの稚魚を約2kg程度を会員の水槽等に保管しておりました稚魚は、無事に岡田池に放流しました。ブラックバスは一匹もいない状態ですので稚魚の成長に期待ができます。 数年後に、岡田池のジャコ取りをする予定です。 もし、この事業があれば飛び入りでも報告が出来る事を期待いたします。</p>
<p>事業を実施してみた感想など</p>	<p>生き物を扱う事業ですので、いかに成長するか？が最大の課題でした。 今後は、岡田池をメインにして、餌やり、根気よく巡回等を実施して、いかにうまく育つか？等を検討したいと思います。</p>

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。